

# 官民連携優良事例について

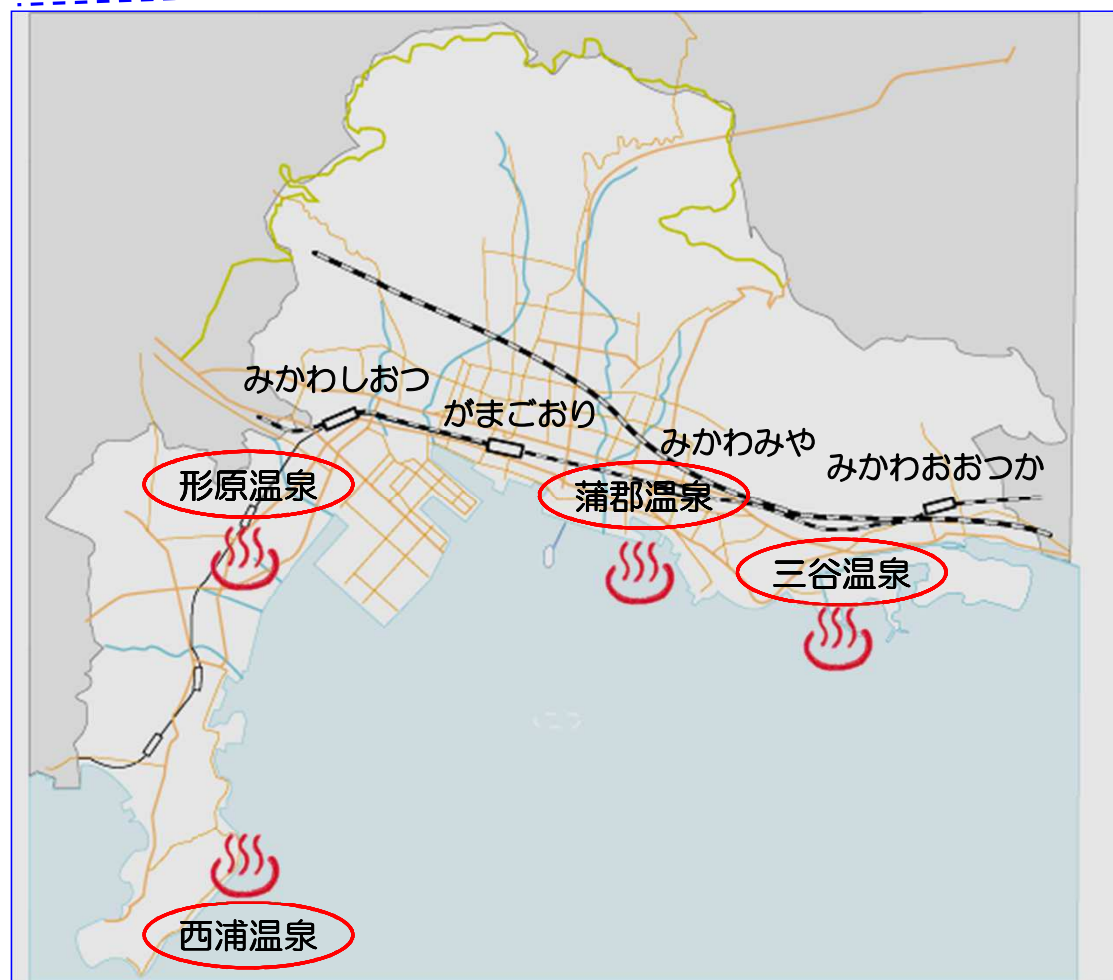
---

☎ 蒲郡市役所

# 蒲郡市概要

蒲郡市は、本州のほぼ中央部、太平洋岸の愛知県南東部に位置しています。渥美・知多の両半島に抱かれた三河湾に面し、残る三方は高さ約400mの山々に囲まれた自然豊かな景勝地です。

三河湾国定公園の中心的位置であり、市内に4つの温泉郷を持つ、愛知県有数の温泉地でもあります。



【“海・市街地・山”が一体となった本市の眺望景観の構成】

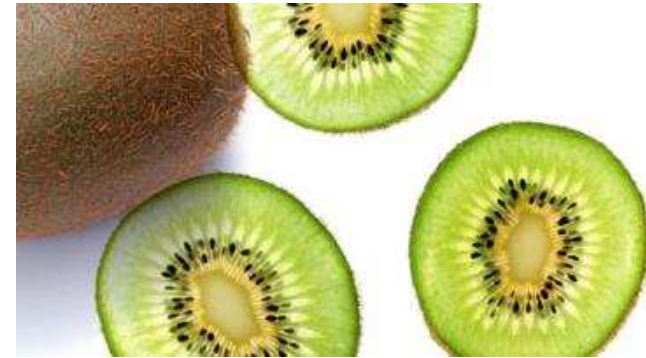


- ・人口 78,518人  
(うち外国人3,310人)  
※令和5年3月1日現在
- ・面積 56.96km<sup>2</sup>  
(東西、南北とも約12km)
- ・気候 温暖で雨の日は年間約10%
- ・提携 沖縄県浦添市(友好都市)  
ニュージーランドのギズボーン港(姉妹港)

## ■農業

温暖な気候を利用しての果実類の栽培が中心。特に施設園芸は全国でも有数の技術。

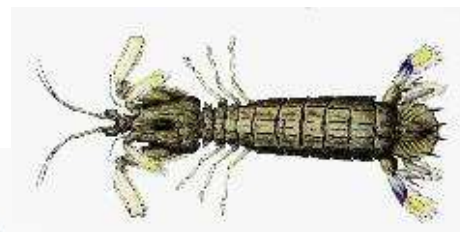
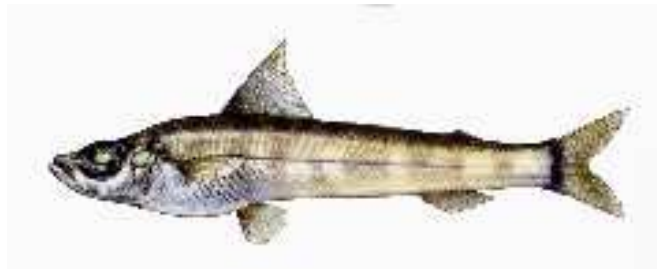
- 蒲郡ハウスみかん ○蒲郡みかん (青島、はるみ、箱入娘、おてんば娘、グリーンみかんなど)
- いちご (サンベリー蒲郡：章姫、ゆめのか) ○キウイフルーツ など



## ■水産業

市内に3つの魚市場を持つ海のまち蒲郡。沿岸漁船漁業と浅海養殖業が中心

- メヒカリ ○ニギス ○イシガレイ ○クルマエビ ○シャコ ○アカザエビ
- アサリ ○トリガイ ○ガザミ など





## ■工業

799年、崑崙人（今のインド人）から三河地方に綿の種と栽培方法が伝えられ、それ以来、木綿をつかった織物がさかんとなり、伝統産業として発展してきた。

- 繊維
- インテリア製品
- 繊維ロープ（全国シェアの約40%）
- 眼科用医療機器
- 眼鏡レンズなどの光学機器
- 胡麻油
- 製粉・製麺 など



## ■商業

地場産業との関連が深く、繊維卸業を主体に鮮魚・水産加工品を扱う事業所が多い。

昔からの流れを汲んだ商店街・発展会が市内に数カ所あり、近年進出してきた大規模小売店舗（スーパー、ドラッグストア）も混在している。

空洞化する中心市街地（JR蒲郡駅周辺）の活性化対策として、「福寿稻荷ごりやく市」など地域の創意と工夫を活かした賑わいのあるまちづくりを進めている。



## <優れた景観・海のまち>

鉄道唱歌東海道編 30番

「豊橋おりて乗る汽車は これぞ豊川稲荷道  
東海道にてすぐれたる 海のながめは蒲郡」

山もあり、四季折々の花や木などの自然も豊か、  
神社・仏閣も多く、スローライフを満喫できる



## <湯のまち>

市内に4つの温泉郷を有する愛知県最大の温泉地

- 三谷温泉郷 (JR三河三谷駅・蒲郡駅からの送迎)
- 蒲郡温泉郷 (JR蒲郡駅からの送迎)
- 形原温泉郷 (JR蒲郡駅または三ヶ根駅からの送迎)
- 西浦温泉郷 (名鉄西浦駅からの送迎)

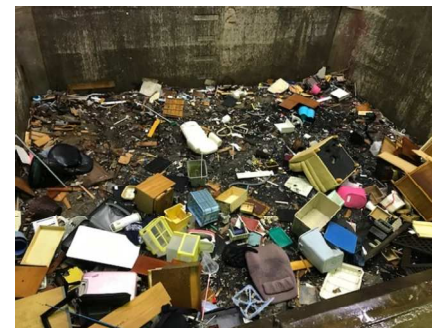
※温泉以外にも国際観光ホテル登録第1号である  
蒲郡クラシックホテルもある





## 背景・目的

蒲郡市のごみ処理施設に持ち込まれるごみの量は3R活動の成果もあり、近年減少してきているものの、**年間約3万2千トン（令和3年度）もの廃棄物が持ち込まれ、処分**しています。その中で**粗大ごみは近年増加傾向にあり、約1,200トン（令和3年度）**となっています。また、**既存の最終処分場はあと約6年で満杯**になることが予想されており、新たな最終処分場を整備することは自然環境に負荷と莫大な費用がかかるため、処分量を削減し、最終処分場の延命を図る必要があります。



蒲郡市クリーンセンター粗大ごみピット



ごみ最終処分場

## 事業内容

「メルカリShops」を通じ、蒲郡市のごみ処理施設に持ち込まれた粗大ごみ等のうち、まだ使えるものを、蒲郡市が「メルカリShops」で販売し、市が率先してリユースに取り組むことで、ごみだと思っていたものでも必要とする人がいることを知っていただき、市民の皆様が自らごみとして捨ててしまう前にリユースに取り組むことを目指すとともに粗大ごみの量の削減・資源の有効利用・財源確保による地域活性化を図ります。

また、自治体で発生する廃棄物であるマンホールを「メルカリShops」で全国で初めて販売し、廃棄物を減らすだけでなく、下水道の役割を知っていただき、公共事業に興味をもっていただく取り組みを進めています。



「サーキュラーシティ」実現のためにリユースを推進するとともに、それぞれの資源及びネットワークを有効に活用することにより、蒲郡市の課題解決をすることを目的に蒲郡市、株式会社メルカリ、株式会社ソウゾウと令和4年4月27日に連携協定を締結

## 協定概要

### 連携事項

- 1 地域の活性化に関連する事項
- 2 循環型社会の推進に関連する事項
- 3 財源確保に関連する事項
- 4 その他、本協定の目的を実現するために必要な事項



令和4年5月11日 中日新聞

令和4年5月30日（ごみゼロの日）の取組開始から約10ヵ月で**49品を売却**し、**廃棄物約655.5kgの削減**となり、必要な方にリユースされました。市民の皆様が、ごみとして捨ててしまう前にリユースに取り組む意識を向上するとともに粗大ごみの削減・資源の有効利用・財源確保による地域活性化を図りました。今後も継続して実施することでごみの削減に努めます。

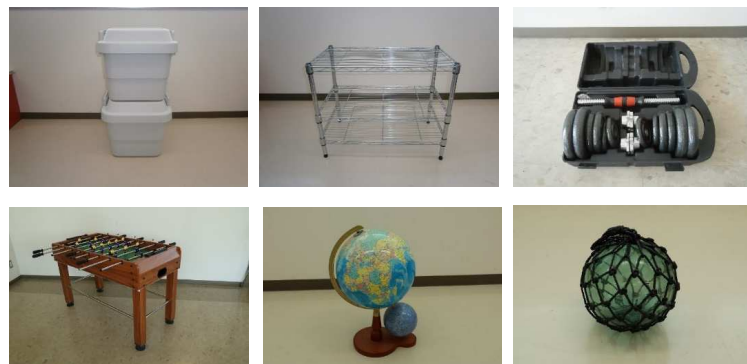
## 「メルカリShops」実績

リユース品数 **49品**


粗大ごみ削減量 **約655.5kg**

売却金額（総額） **92,800円**

（令和5年3月31日現在）



「メルカリShops」においてリユースされた商品（抜粋）



蒲郡市  
★★★★★ 8 フォロワー 588  
メルカリShops

✓ フォロー中

共有する

商品


ショップ情報

すべて


在庫あり

すべての商品


SOLD




¥1,500



¥1,200

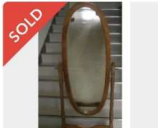


¥1,600




¥1,200

SOLD

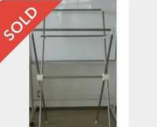


¥1,000




¥1,000

SOLD




¥300

SOLD




¥500


SOLD



¥10,000




¥7,500




¥3,000

SOLD




¥1,400




¥2,000

SOLD




¥1,300


SOLD




¥3,000




¥2,500




¥1,500



¥1,500




¥1,200




¥1,500

SOLD




¥1,000




¥5,000

SOLD



¥1,000



¥4,000



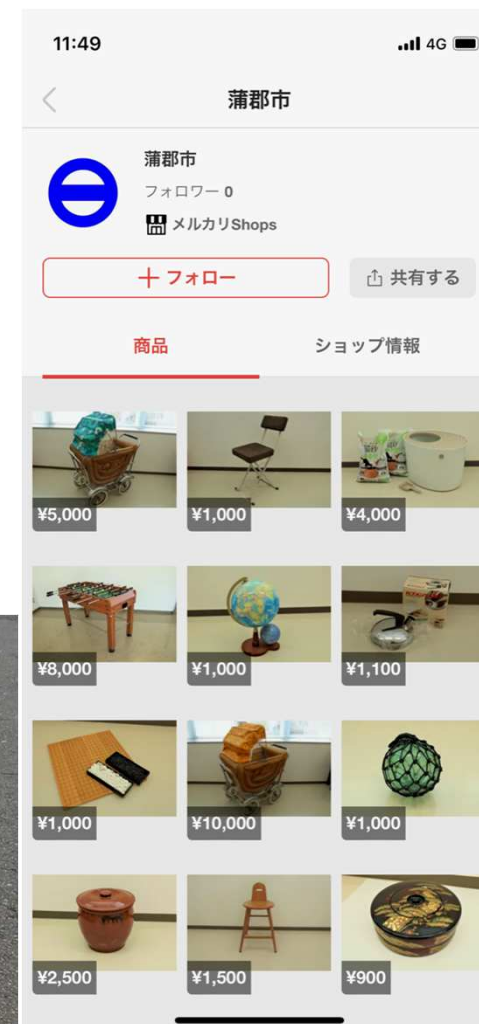
## メルカリShops

誰でも簡単にネットショップを開設できるEコマースプラットフォーム「メルカリShops（メルカリショップス）」に蒲郡市のアカウントを取得し、**蒲郡市のクリーンセンターに持ち込まれる、まだ使える粗大ごみを令和4年5月30日（ごみゼロの日）に出品を開始**

### ※全国初の取組み

（愛知県蒲郡市、新潟県加茂市・田上町消防衛生保育組合の2団体で実施）

令和5年3月22日に新たな取組みとして廃棄物として持ち込まれた「伐採木の販売」と「不要となった備品等の販売」を開始。伐採木や市の備品を出品することで、廃棄物の量の削減と幅広い方々へリユース意識の定着、行動変容を促しています。



## エコボックス

### 【概要】

蒲郡市と株式会社メルカリが連携し、リユース意識の定着を図る実証実験として「捨てる」から「長く使う」、「人に譲る」などサステナブルな行動の定着・行動変容を促すために家庭内の不要だが捨てるにはもったいない物品を一時的に保管しておく箱を市民の皆様は無償配布。利用者アンケートを実施し、行動変容を分析。

### 【目的】

エコボックスに家庭内の不要品を入れ、箱の中身を見返して、そのモノを「捨てる」のではなく、必要としている人にあげたり、売ったりすることで「リユースをあたりまえ」にする行動が定着させ、サーキュラーシティの実現を目指す。

行っているごみの分別は「捨てる」が前提となっているが、「エコボックス」の施策を通じて、「もえる」「もえない」等の分別カテゴリと同等に「リユース」も選択肢として定着させていくことで、モノをより長く活用する文化の醸成を目指す。

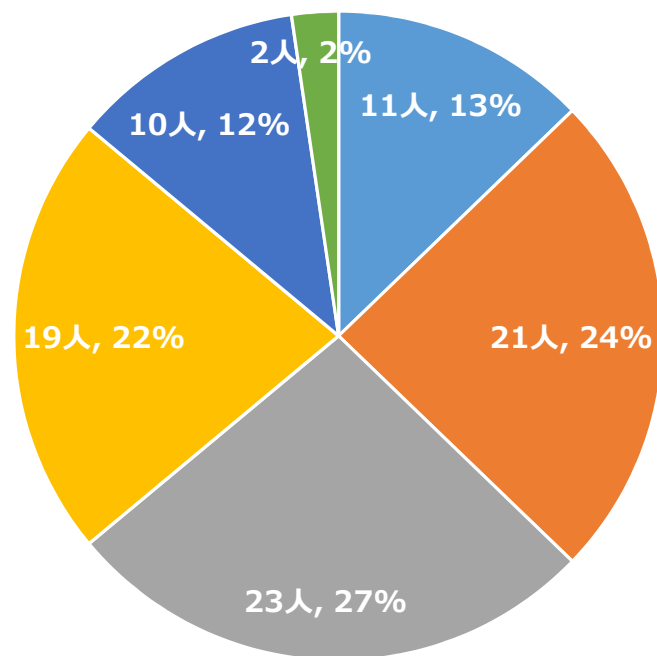


※全国初の取組み（愛知県蒲郡市、新潟県加茂市の2市で実施）



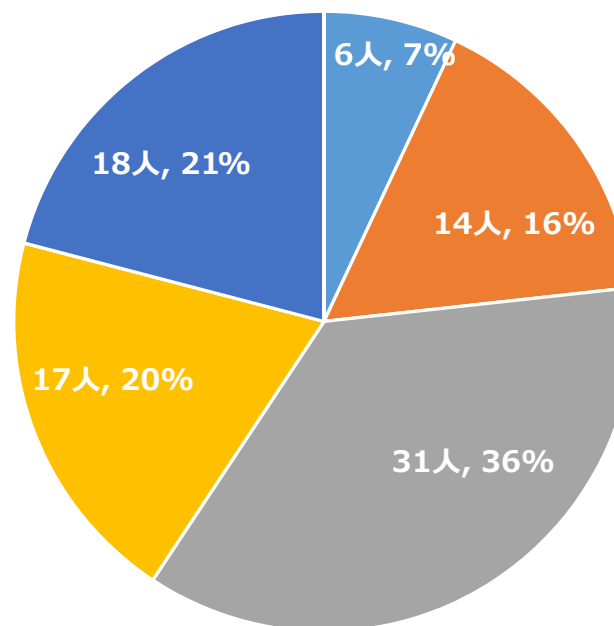
# メルカリエコボックスアンケート結果

- 10歳代から70歳代まで幅広い方に参加いただきました。
- フリマアプリ メルカリの利用率について出品のみしたことがある方は7%、購入のみしたことがある方は16%、両方の経験がある方は36%と**全体の59%の方が利用した経験がある**と回答しています。
- フリマアプリ メルカリの出品・購入・閲覧のいずれも経験がない方は21%となっています。



年代

- 20歳代以下
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代

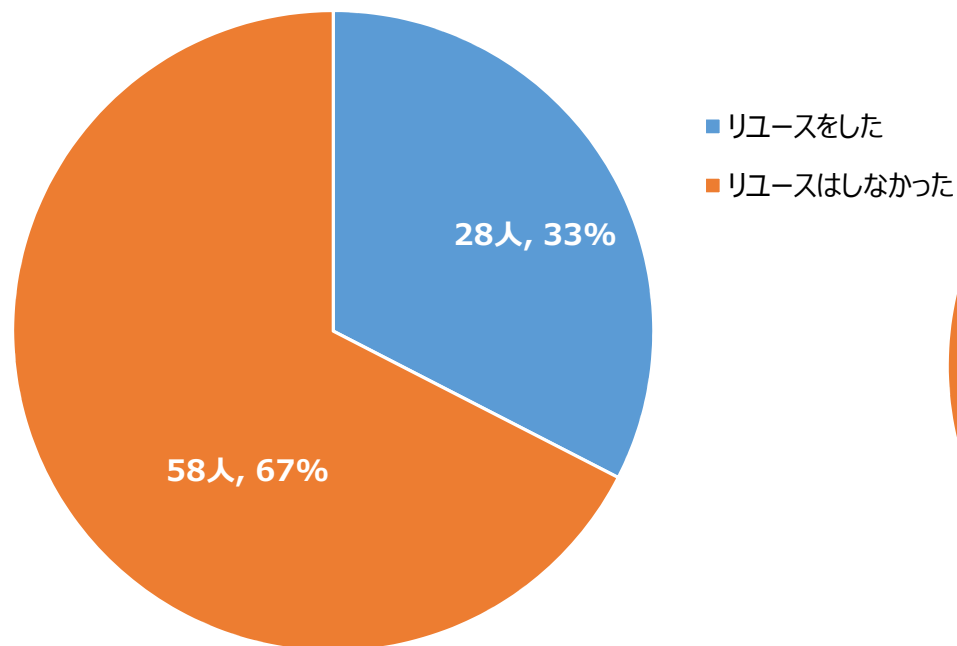


メルカリを利用したことがありますか

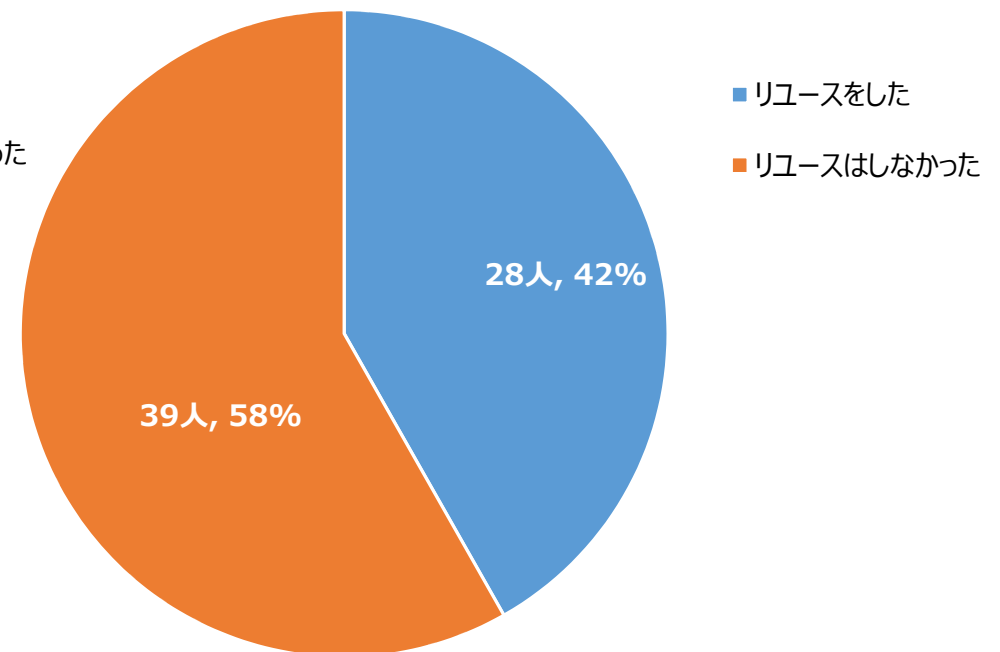
- 出品のみしたことがある
- 購入のみしたことがある
- 出品・購入の両方の経験がある
- 閲覧はしたことがあるが、出品や購入の経験はない
- 出品・購入・閲覧のいずれも経験がない
- メルカリを知らない



- 「メルカリエコボックスに入れたものを実際にリユースした」と回答した方は33%となりました。
- 「メルカリエコボックスに実際に不要品を入れた」と回答した方のうち42%の方が「メルカリエコボックスに入れたものを実際にリユースした」と回答しており、約4割の方のリユースに繋がりました。



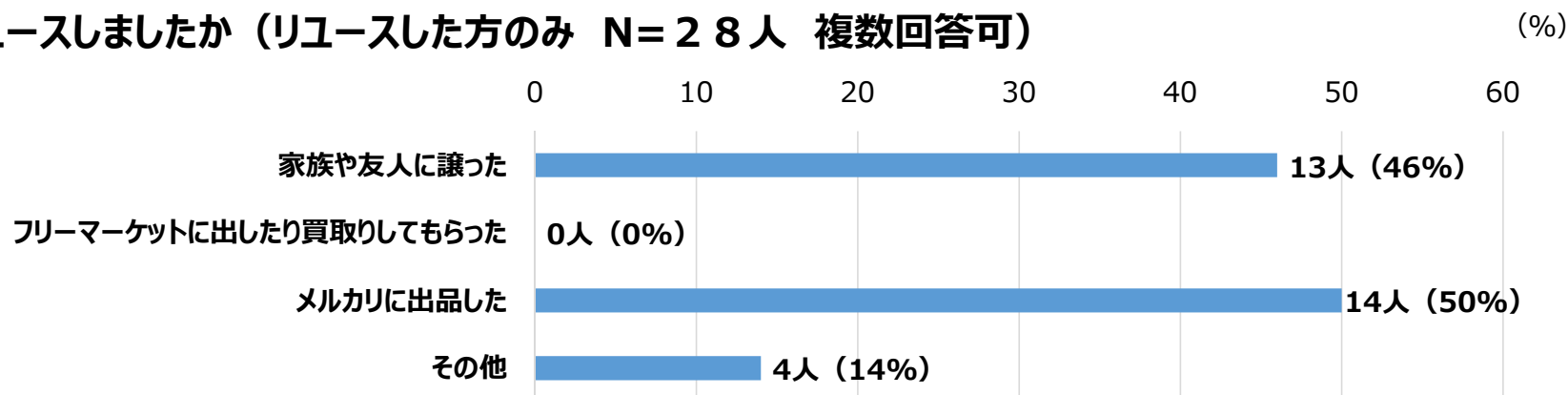
エコボックスに入れたものを実際にリユースしましたか



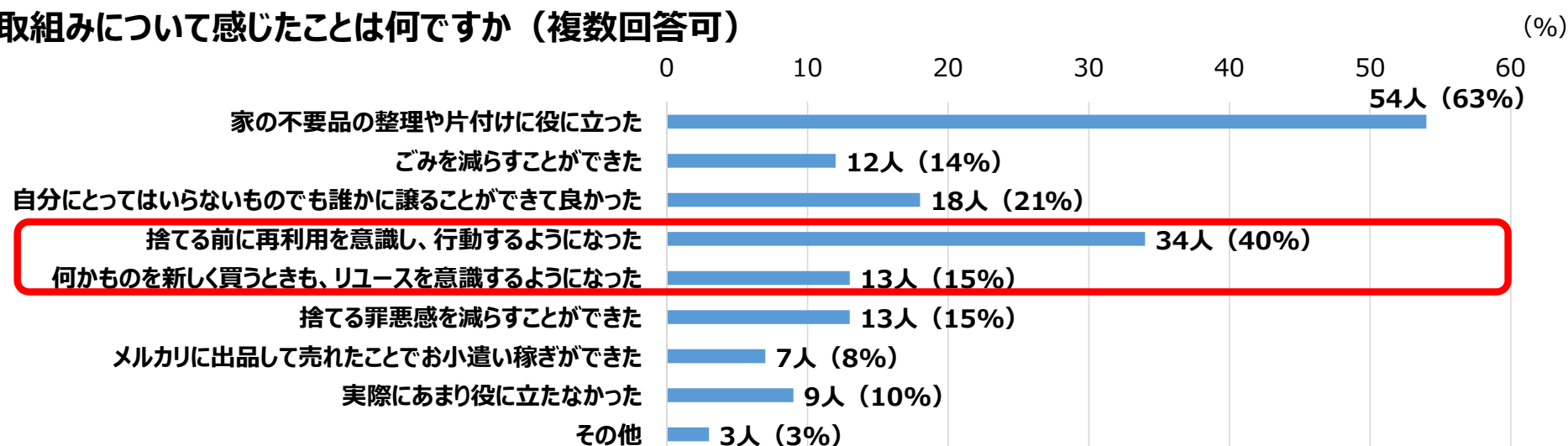
エコボックスに入れたものを実際にリユースしましたか  
(エコボックスに不要品を入れた方のみ n=67人)

- どのようにリユースしたかについて「メルカリア出品した」が最も割合が多く50%、次いで「家族や友人に譲った」が46%となっています。
- 取組みについて感じたことの中で「家の不要品の整理や片付けに役に立った」と回答した方が63%と最も多く、「捨てる前に再利用を意識し行動するようになった」と回答した方が2番目に多く40%となっており、市民の意識変容にもつながっています。

## どのようにリユースしましたか（リユースした方のみ N=28人 複数回答可）



## 取組みについて感じたことは何ですか（複数回答可）



## メルカリ教室

個人の方がリユース意識向上のため、メルカリ専任講師によるフリーマーケットアプリ「メルカリ」の操作方法、出品の仕方を学ぶ方ができるメルカリ教室を開催。

市及び公益社団法人蒲郡市シルバー人材センターにおいて開催。

令和4年6月 市民会館で開催（市主催）

令和4年8月 生きがいセンターで開催（シルバー人材センター主催）

令和5年5月 クラスポ蒲郡で開催（市と主催、クラスポ協力）

不要品を自ら出品し、「捨てる」から「リユース」への意識を醸成

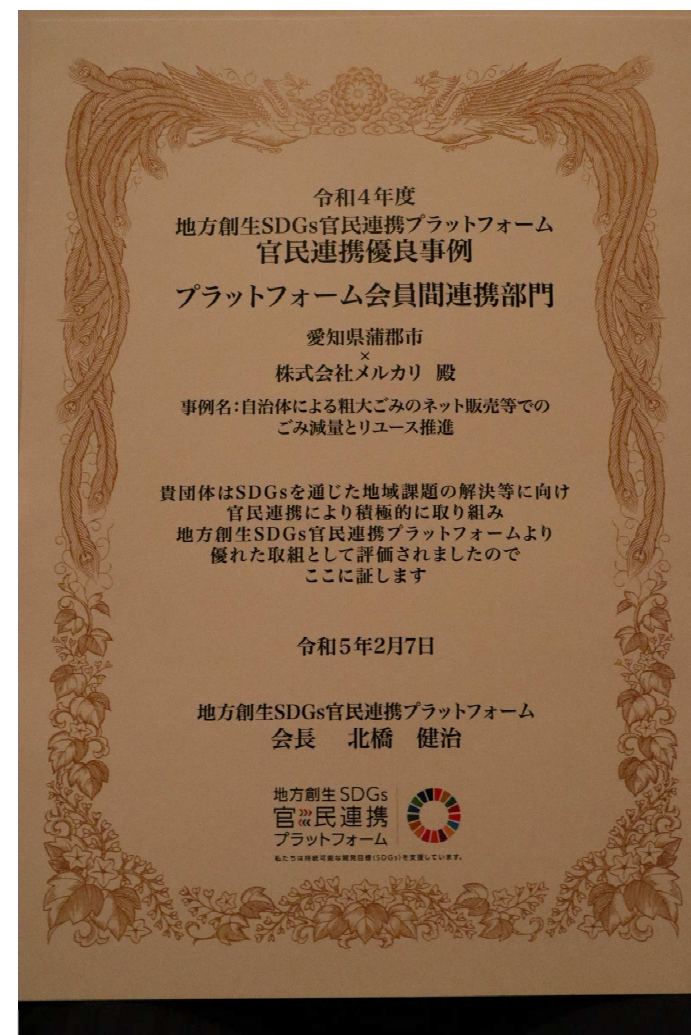




内閣府地方創生推進事務局が実施する地方創生官民プラットフォーム「地方創生SDGsの達成へ向けた官民連携取組事例」において令和4年度地方創生SDGs官民連携プラットフォーム **官民連携優良事例**に選定。

## 表彰テーマ

自治体による粗大ごみのネット販売等でのごみ減量とリユース推進



地方創生SDGs  
官民連携  
プラットフォーム



## 概要

日本、カンボジア、国際連合地域開発センターより招待受け、本フォーラムに参加。様々な企業との連携事例を挙げ、**サーキュラーシティの取り組みを紹介し、官民連携の重要性を発信**。また、「アジアの市長による都市におけるクリーンな土地、クリーンな水、およびクリーンな空気の実現に関する**インドール3R宣言**」への署名をしました。インドール宣言への署名は日本の自治体では大阪市について2番目。

### <日時>

令和5年2月8日から令和5年2月10日

### <会場>

カンボジア王国 ソカ シェムリアップ リゾートアンドコンベンションセンター

### <フォーラムテーマ>

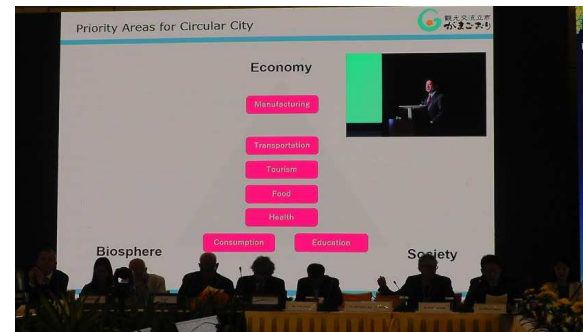
Integrating Circular Economy in Major Development Sectors towards Achieving Zero Waste Societies and the SDGs

### <蒲郡市プレゼンテーションテーマ>

Public-Private-Partnership as the basis for advancing Circular Economy-Case of Gamagori city, Aichi, Japan  
(蒲郡市の官民連携したサーキュラーエコノミーの推進事例)

### <参加者>

アジア諸国等の政府及び自治体、学識者、国際機関等





令和5年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業に採択され、全国の自治体に展開できる粗大ごみのリユース事業のモデルを構築。

## 概要

### 【事業名】

高齢者の力でリユース推進！粗大ごみのネット販売によるサーキュラーエコノミーモデル化事業

### 【事業概要】

粗大ごみをネットショップで販売する取組みを令和3年度から実施しており、市職員出品や引渡等の作業を実施していた。粗大ごみは日々持ち込まれ、まだ使える物品も多く存在する。作業を蒲郡市シルバー人材センターに委託することで、リユース割合の向上を目指すもの。

粗大ごみやCO<sub>2</sub>の削減量、販売に係る収支のバランス、費用対効果を検証し、地域における持続可能なリユースの仕組みを全国の自治体で横展開できるモデルを構築する。

※ 使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業とは

本モデル事業は、リユース関連事業者や市民団体と連携した先進的なリユース施策を実施しようとする地方公共団体を支援することを目的とし、施策実施に必要となる事前調査、関係者との調整又は施策の効果検証等について、その費用の支援及び技術的支援（事業実施者が困難な効果検証等に限る。）を行うもの。